

PTA通信



蕪崎工業高等学校
http://www.kai.ed.jp/nirasakith/
E-Mail: info@nirasakith.kai.ed.jp

2006.12.4 Vol.3

《編集・刊行》
蕪崎工業高等学校PTA
《発行責任者》
PTA会長 望月 弥一

NewsPaper of PTA (Parent-Teacher Association) NIRASAKI TECHNICAL HIGH SCHOOL

『親は子どもを映す鏡』

蕪崎工業高等学校
PTA会長 望月 弥一



親の背中を見て育つ子ども達。夢と希望を掴むために一生懸命にがんばっています。何が正しくて、何が悪い事なのか、どのように生きていくべきか、毎日、不安と戦っています。私達親ができることは何でしょうか？困った時に手を差し伸べることは簡単です。子どもの成長を願い、時にはじっと我慢して、温かく見守ることも必要ではないでしょうか。親が変われば、子どもも変わっていきます。今、私達にできることを、また、今しかできないことを大事にして、子ども達と強く関わっていきましょう。蕪工祭における餅つきやPTA合唱団への参加、甘利山登山強歩大会での豚汁の提供や一緒に歩くことなど、直接ふれあう機会は充

分にあります。人生で最も大切な『高校生時代』を共に歩んで、親としての実力を示してほしいと願っています。できることを一步一步着実にやっていく姿が、大きな励みになっていきます。学校と生徒との間に位置する保護者の皆様、子どもや学校のありのままの姿を直視して、まず、「子ども達のために」PTA活動を実践しましょう。それが地域・学校・社会のためになっていき、やがて皆様方自身のためになることを確信しています。釣り鐘を強く叩けば、大きく響き渡ります。子ども達の限り無い成長を信じて、今こそ真の親の実力を発揮してください。

変わっていく蕪崎工業高等学校と共に、変わっていくPTAを目指して、今後とも皆様方の熱いご支援と温かいご協力を、切に、宜しく願い申し上げます。

第1回『蕪工活性化合同会議』を開催

生徒代表・PTA役員・担当教師による意見交換会、継続開催を決定



より充実した教育環境の構築を目指して！
お互いの立場での意識を再確認！

去る 10月5日(木) 本校会議室において生徒代表とPTA役員そして担当教師の三者が一同に会し、本校の活性化のための話し合い(題記)を開催いたしました。

「地域に親しまれる学校へ」、また「より充実した教育環境の構築」を目指して、互いの持つ意識の再確認を含め、意見交換会を行ないました。

時間も忘れる程に盛り上がり、とても有意義なものとなりました。今後は、より具体的な方策を見出すための会とするため、継続的に開催することで意見集約されました。 <次頁「特集」にて、詳細を掲載>

『第1回 校内活性化合同会議』

席上で活発な意見を交わす生徒代表、PTA役員と担当教師。

特集

第1回 『葦工活性化合同会議』の報告



前頁に記述しましたとおり、去る 10月5日、本校会議室において生徒代表とPTA役員そして担当教師の三者が一同に会して、本校の活性化のための話し合い(題記)が開催されました。

生徒やPTAが学校をどのように見ているか、感じているか、そしてどのような姿が望まれるかを話し合いました。

席上での意見や感想(抜粋)、そして感じたことを掲載させていただきます。

子ども達との接し方の参考になれば、更にご意見やご感想をお寄せくだされば幸いです。

- **開催日** 平成 18年10月5日(木)
午後 4時30分～6時30分まで
- **場 所** 葦崎工業高等学校 会議室
- **参加者** PTA役員：4名
生徒代表：4名
学校教員：5名 (合計13名)

【生徒の意見・感想】

- ◇登下校時の交通マナーが気になる。
- ◇授業中に携帯電話をいじるなどの授業妨害はごく一部の意識の少ない生徒が行っている。
- ◇授業中の私語も同じく少ない人数から徐々に広がっていく。
- ◇先生によって注意に差がある。生徒も先生の反応を見て態度が変わるところがある。

- ◇ゴミを放置する人が目立つ。意識の問題である。(学校を綺麗にしておきたい。)
- ◇ジュースを昼休み以外に教室に持ち込むなどマナーの乱れがある。
- ◇校則への意識より、法律に触れなければ良いと思っている。
- ◇何か問題を起こすと親が守ってくれると思っている。

以上のように、多くの子ども達は規範意識を持ってはいるものの、ごく一部の生徒による態度や行動によって学校の雰囲気やイメージを阻害してしまうと感じられました。

【PTAの意見・感想】

- ◇注意をしたりすると反発する難しい年頃だ。
 - ◇深夜徘徊にならないように注意すべきで、男女の差別は良くない。
 - ◇10時以降の意味合いを親から子どもに言うべきである。
 - ◇学校に意見などを寄せて、みんなで学校を良くするために『力』を入れるべきだ。
 - ◇本校に対する周囲の人の呼び方について、生徒と保護者の意識にかなりの開きがある。今後どのようにすれば良いかみんなで考えるべきである。(本校は『釜工』ではなく『葦崎工業』である。)
 - ◇母親としてはなかなか男子に注意できない。
 - ◇親はしっかりとと言わないとダメである。
 - ◇深夜、親が寝てから出かけることがある。
 - ◇父親も学校に来て、話し合いの場に参加してほしい。
 - ◇親としても子どもに目の届くところと、届かないところがある。
 - ◇生徒に葦工生としての誇りを持って、学校を良くするという意識を強くしてもらいたい。
- 親としても、感受性の強い難しい年頃の子ども

特集

達への接し方に苦慮されている様子が感じ取れましたが、どこの家庭でも抱えている問題は共通していると思われます。

個と個での対応も必要とは感じますが、できるだけ多くの保護者の皆さんがPTA活動などに参加され、そのような場で互いの知恵や経験を話し合うことで解決できる事も多いと考えます。

初回のため、意見集約や対処方策などの充実した結論は出ませんでした。今後も継続して開催し実りあるものへ導きたいと、相互確認をいたしました。会員の皆様のご意見をお待ちしておりますので、重ねてお願いをいたします。

子ども達を『立派な社会人へと導く責任』が、私たち大人にはあります。子ども達の健全育成を目指して、互いに協力しましょう。

緊急告知

文部科学大臣より通達

文部科学大臣からのお願い

お父さん、お母さん、ご家族の皆さん、学校や塾の先生、スポーツ指導者、地域のみなさんへ

このところ「いじめ」による自殺が続き、まことに痛ましい限りです。いじめられている子どもにも「アライド」があり、いじめの事実をなかなか保護者等に伝えられないことも苦々しく感じます。

一つしかない生命。その誕生を喜び、胸に抱きとつた生命。無限の可能性を持つ子どもたちを大切に育てたいものです。子どもの小さな変化をみつけるためにも、毎日少しでも言葉をかけ、子どもの対話をして下さい。

子どもの心の中に自殺の連鎖を生じさせぬよう、連絡しあい、子どもの生命を護る責任をお互いに再確認したいものです。

平成十八年十一月十七日

文部科学大臣 伊吹 文明

上記の通達が文部科学大臣よりありました。最近、マスコミ各社・新聞報道等での若年層における諸問題、特に「いじめ」の問題は、子ども達の命に直接にかかわる重大な事柄となっています。大人が真剣に取り組む必要を感じます。

『蕪工ニュース』で学校を知ろう!

蕪崎工業高等学校広報部では、先生方の手作りによる『蕪工ニュース』を毎月1回発行しています。

学校行事や子ども達の日々の活躍が詳細に掲載されていて、とても内容の充実した刊行物です。

この度、発行される「蕪工ニュース 第25号」も、各クラブの活躍や校内の出来事など、我々保護者にもその様子が手に取るように理解できます。

蕪崎工業高等学校を家庭や地域住民の方々などに少しでも広く、多くを知ってもらいたいとの先生方の熱い思いが伝わってきます。

先生方の前向きなご努力と、そして子ども達の日々の活躍を、皆さんと共に心より称賛したいと思います。



御礼

蕪工祭・甘利山登山強歩大会

蕪工PTA活動のなかで最も中心的存在の学校行事へのサポート事業。そのなかの『蕪工祭』と『甘利山登山強歩大会』が立続けに開催されました。公私共に大変お忙しいなかで、この2行事に参加・ご協力いただきましたPTA会員の皆様、誠にありがとうございました。

皆様方の積極的なご支援・ご協力により無事盛況に開催されることができ、心より安堵しております。

多くの子ども達の心にも良き思い出として残ったことと思います。

保護者の交流・親睦が子ども達に与える影響は大変に大きいものと実感いたしました。

今後ともPTA活動へのご支援・ご協力をお願いいたしまして、『蕪工祭』と『甘利山登山強歩大会』へのご協力の御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

特集

緊急告知

文部科学大臣より通達

達への接し方に苦慮されている様子が感じ取れましたが、どこの家庭でも抱えている問題は共通していると思われます。

個と個での対応も必要とは感じますが、できるだけ多くの保護者の皆さんがPTA活動などに参加され、そのような場で互いの知恵や経験を話し合うことで解決できる事も多いと考えます。

初回のため、意見集約や対処方策などの充実した結論は出ませんでした。今後も継続して開催し実りあるものへ導きたいと、相互確認をいたしました。会員の皆様のご意見をお待ちしておりますので、重ねてお願いをいたします。

子ども達を『立派な社会人へと導く責任』が、私たち大人にはあります。子ども達の健全育成を目指して、互いに協力しましょう。

文部科学大臣からのお願ひ

お父さん、お母さん、ご家族の皆さん、学校や塾の先生、スポーツ指導者、地域のみなさんへ

このところ「いじめ」による自殺が続き、まことに痛ましい限りです。いじめられている子どもにもブライドがあり、いじめの事実をなかなか保護者等に訴えられないことも苦々しく思われます。

「つらい生命」。その誕生を喜び、胸に抱きとった生命。無限の可能性を持つ子どもたちを大切に育てたいものです。子どもの示す小さな変化をみつけるためにも、毎日少しでも言葉をかけ、子どもとの対話をしてみてください。

子ども心の中に自殺の連鎖を生じさせぬよう、連絡しあい、子どもの生命を護る責任をお互いに再確認したいものです。

平成十八年十一月十七日

文部科学大臣 伊吹 文明

上記の通達が文部科学大臣よりありました。最近、マスコミ各社・新聞報道等での若年層における諸問題、特に「いじめ」の問題は、子ども達の命に直接にかかわる重大な事柄となっています。大人が真剣に取り組む必要を感じます。

『蕪工ニュース』で学校を知ろう!

蕪崎工業高等学校広報部では、先生方の手作りによる『蕪工ニュース』を毎月1回発行しています。

学校行事や子ども達の日々の活躍が詳細に掲載されていて、とても内容の充実した刊行物です。

この度、発行される「蕪工ニュース 第25号」も、各クラブの活躍や校内の出来事など、我々保護者にもその様子が手に取るように理解できます。

蕪崎工業高等学校を家庭や地域住民の方々などに少しでも広く、多くを知ってもらいたいとの先生方の熱い思いが伝わってきます。

先生方の前向きなご努力と、そして子ども達の日々の活躍を、皆さんと共に心より称賛したいと思います。



御礼

蕪工祭・甘利山登山強歩大会

蕪工PTA活動のなかで最も中心的存在の学校行事へのサポート事業。そのなかの『蕪工祭』と『甘利山登山強歩大会』が立続けに開催されました。公私共に大変お忙しいなかで、この2行事に参加・ご協力いただきましたPTA会員の皆様、誠にありがとうございました。

皆様方の積極的なご支援・ご協力により無事盛況に開催されることができ、心より安堵しております。

多くの子ども達の心にも良き思い出として残ったことと思います。

保護者の交流・親睦が子ども達に与える影響は大変に大きいものと実感いたしました。

今後ともPTA活動へのご支援・ご協力をお願いいたしまして、『蕪工祭』と『甘利山登山強歩大会』へのご協力の御礼を申し上げます。

ありがとうございました。